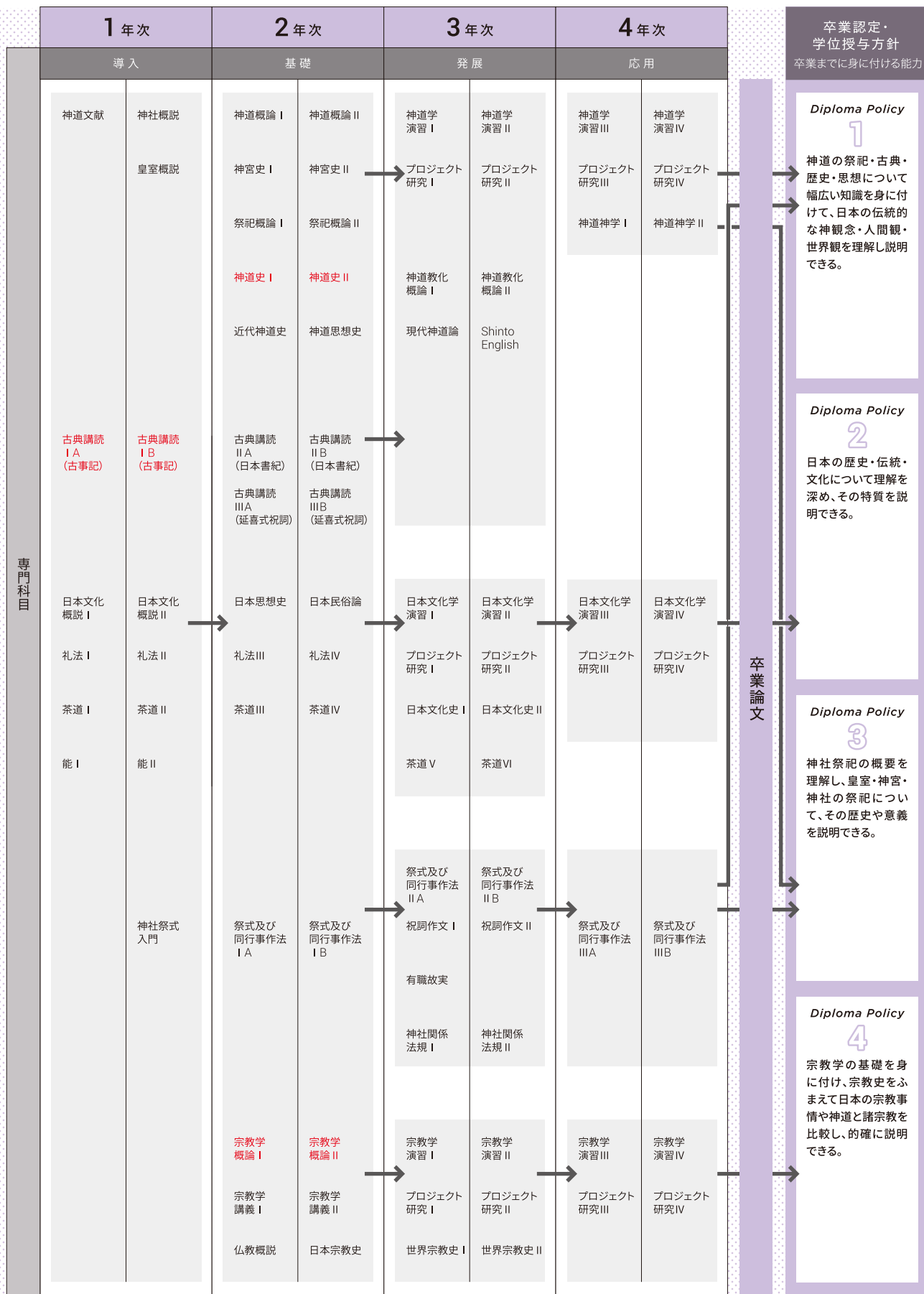


4年間の学びの流れ [令和3年度カリキュラム]

神道学を核に、日本の伝統、文化、精神へ幅広くアプローチします。



赤文字:重要科目

注目の科目

皇室概説

皇室の基礎的事項から
重要事項までを学ぶ

皇室の歴史・制度の中でも特に神道と関わりの深い祭祀や儀礼についての基礎的な知識を身に付け、皇室に対する関心を高めます。授業では皇室に関する重要項目を順次取り上げ、映像資料なども使用して講義を行います。



神道学演習I～IV

伊勢の神宮と崇敬・奉賛について
多角的に研究

『伊勢の宮人』を講読し、神宮の基礎的な知識を身に付け、大神宮叢書や大神宮故事類纂、神宮文庫所蔵文献を研究するための基礎学力を修得。調査・発表するスキルを生かし、最終的には卒業論文の作成をめざします。

祭式及び同行事作法 I A・B

祭祀における礼法ともいうべき
「作法」を体得

神職の務めとして重視される「祭祀の厳修」に必要な基礎的な姿勢・作法を身に付け、神々を畏む心を養い、それぞれの作法が持つ意味を理解したうえで、修祓・宮司一拝・祝詞奏上・拝礼などの行事について学びます。

古典講読II A・B(日本書紀)

日本書紀を原文で
読み解くことで古代信仰を理解

『日本書紀』が、神道書としてどう読まれてきたのかを念頭におきながら、神代巻を中心に講読。編纂・書名・体裁などから本書の特色を明らかにし、神道に関する根源的記述、神統譜から皇統譜への継承を理解します。

宗教学演習 I～IV

ひとつのテーマについて、
グループワークで取り組む

春学期は学外の宗教者から提示された研究テーマについて、グループで研究・調査に取り組む「PBL授業」を行い、秋学期では各自が自由に研究テーマを決め、グループワークで発表をくり返す「学生主体型授業」により成長をサポートします。

古典講読 I A・B

神道における
最重要の古典『古事記』を講読

日本人の歴史意識・美意識・自然観などに影響を与えてきた『古事記』。本講義では、上巻の冒頭から国生みまでと、三貴子出生から天孫降臨までを精密に講読し、神道思想および日本思想史の基礎知識の修得をめざします。



最近の主な卒業論文のテーマ

神道学コース

- 鳥居の研究
- 笏の研究
- 神道と祈りの場
- 神宮式年造替の研究
- 豊受大神の研究
- 山岳信仰における天狗
- 鏡の文様に関する宗教性についての研究
- 美濃国苗木藩における廃仏毀釈
- 神楽の研究
- 郷土玩具と神社授与品
- 疫神信仰の研究ー祇園信仰と現代における展開ー
- 日本における刀剣祭祀

日本文化コース

- 文学作品から見る天皇観
- 沖縄本島における沖縄戦没者慰霊
- 白山神社祭神考
- 十二単と女性の服飾
- 天神信仰と画像
- 宗教組織の動きから見る明治維新以後の立山信仰
- 犬の伊勢参りと神宮の関わり
- オシラ信仰ー女性祭祀の伝統とその継承ー
- 過疎地域神社の運営
- 黒住教と太陽信仰